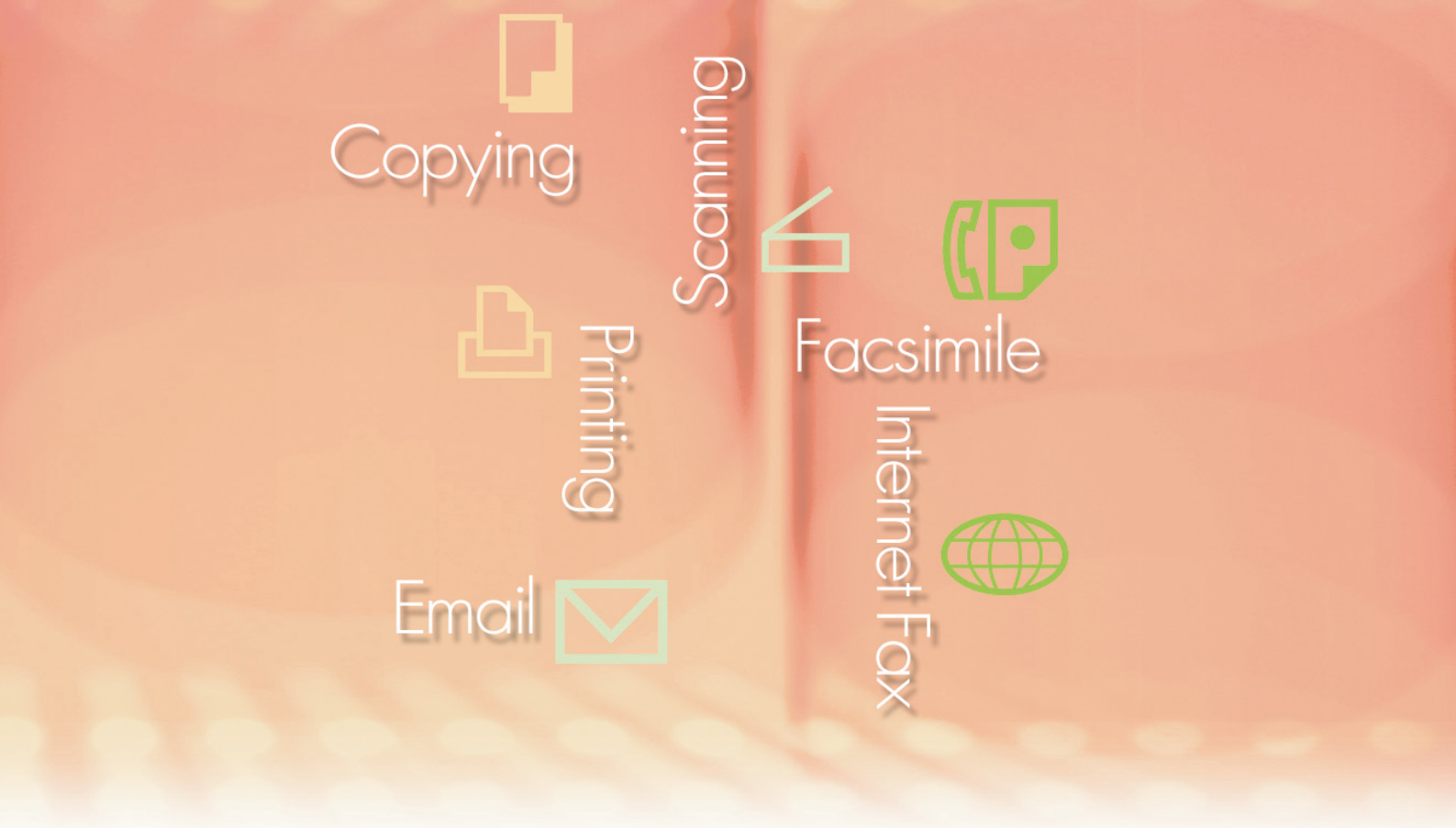
Panasonic

このオプションが利用できる機種
品名：デジタル複合機
品番：DP-8060 / 8045 / 8035

取扱説明書
(データセキュリティーキット編)
データセキュリティーキット

品番 DA-SC01



WORKIO™

このたびは、パナソニック デジタル複合機をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
■取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
■**特に『取扱説明書（基本編）』の「安全上のご注意」は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。**
お読みになったあとは、大切に保管し、必要なときにお読みください。

上手に使って上手に節電

本製品は ISO/IEC15408　EAL2 の認証を取得しています。

TOE の識別
名称:　　データセキュリティーキット
　　DA-SC01
バージョン:　V1.01

本製品 (又は本システム) が取得した情報セキュリティーに係る認証は、評価に用いた評価対象 (Target of Evaluation) が所定の評価基準及び評価方法に基づく評価の結果、セキュリティー保証要件に適合していることを示すものです。

CCRA 認証マーク

本認証マークは、本製品の評価が「IT セキュリティ評価及び認証制度」の定めに従って実施されたこと及び本製品に対する評価結果が検証されたことを示すものであり、本製品の脆弱性が全くないことの保証及び特定の運用環境で必要なセキュリティ機能が装備されていることの保証を意味するものではありません。

本書の表記について

- 本書では、本機の操作パネルの各キー、タッチパネルディスプレイ上のボタン、コンピューター画面上のボタンなどについて、下記のように表記しています。

< >	操作パネルの各キー(例:スタートキー → **<スタート>**)
[ ]	タッチパネルディスプレイ上の各ボタン、コンピューター画面上のボタンなど (例:基本ボタン →[基本])

- 本機のタッチパネルディスプレイ上のカタカナ文字や数字は、半角と全角が一部混在していますが、本書では、説明文はすべて全角に統一して表記しています。
- キーオペレーターが操作する事項には (キーマーク)を付けています。

目次

1章 はじめに

- ご利用にあたって 4
- セキュリティー機能概要 4
- キーオペレーターへのお願い 5

2章 セキュリティー設定

- 概要 6
- データセキュリティーキットバージョンの確認 6
- キーオペレーターパスワードの設定 ( ) 7
- ハードディスク装置のデータ消去レベルの設定 ( ) 9
- ハードディスクドライブロックパスワードの設定 ( ) 10
- セキュリティー機能の動作確認 12

3章 セキュリティー機能動作中の表示

- 文書データ上書き消去中の表示 13

4章 セキュリティー設定の変更

- キーオペレーターパスワードの変更 ( ) 14
- ハードディスクドライブロックパスワードの変更 () 16

5章 トラブルシューティング

- 文書データが上書き消去できないとき ( ) 18
- データ領域に残ってしまった文書データの上書き消去方法 ( ) 19
- ハードディスクドライブロックパスワードが一致しないとき ( ) 21
- ハードディスクドライブロックパスワードの再設定 ( ) 22

6章 本機を廃棄するときのお願い

- 本機を廃棄するときのお願い ( ) 24

ご利用にあたって

データセキュリティーキットは、本機のハードディスク装置*1に蓄積される文書データを、データの出力後に第三者による不正な再出力を防止するためのソフトウェアです。

*1 ハードディスク装置はオプションです。データセキュリティーキットオプションはハードディスク装置（品番：DA-HD60）が取付けられているときのみ、ご利用いただけます。

セキュリティー機能概要

コピー／プリンター／スキャナーの機能によりハードディスク装置に一時的に保持された文書データを、その利用が終了した時点でデータの消去を行います。
通常、ハードディスク装置を扱う電子機器において、ハードディスク装置のデータの削除とは、データの管理情報を削除するだけでデータ領域は消去されません。したがって、ハードディスク装置の盗難や機器の交換、廃棄時に文書データが残存した状態になることがあり、PC やツール等により文書データが再び読み出される恐れがあります。

データセキュリティーキットは、これらの文書データに対し、次のようなセキュリティー機能を提供します。

（1）文書データを残さない機能

文書データの出力と同時に、ハードディスク装置内のデータ領域を自動的に上書き消去します。
上書き消去の方法（レベル）を設定することができます。
・レベル１： 文書データのデータ領域にすべて０のデータを３回上書き消去します。
・レベル２： 文書データのデータ領域にランダムな値を２回、その後すべて０のデータを１回上書き消去します。

また、機器の交換･廃棄時などにハードディスク装置を初期化して、ハードディスク装置内に蓄積されたデータ領域を上書き消去し、復元できない状態にできます。

（2）ハードディスクドライブロック管理機能

ハードディスク装置にパスワードを設定することにより、ハードディスク装置が持ち出された場合でも、パスワードによるロックを行うことで第三者による不正な再出力を防止します。

（3）本機のセキュリティー設定を保護する機能

本機のセキュリティー設定には、キーオペレーターのパスワード（８文字）の入力が必要です。
キーオペレーター以外によるセキュリティー設定の変更を防護します。
また、パスワードは任意に設定することができます。

キーオペレーターへのお願い

機密性保持のためキーオペレーターは、セキュリティー機能の作動、機器の交換・廃棄時にいたるまで、機器の機密保持のため、下記 6 項目を確実に行っていただきますようお願いいたします。
本製品設置、ネットワーク接続、ネットワークの構築、セキュリティー機能の設定につきましては、以下の項目について必ずご対応ください。

1. キーオペレーターは、サービス技術者がメーカーまたはその関連会社、販売会社の社員であることを身分証明書の提示を求め、ご確認ください。
2. 本機を接続するネットワークから、外部ネットワークに接続する際には、ファイアウォールを介して接続してください。
3. 本機とクライアント PC またはサーバーとを接続する際には、盗聴されないネットワーク環境を構築してください。たとえばスイッチングハブ等の機器を設置したり、暗号化することのできるネットワーク環境を構築するようにしてください。
4. キーオペレーターパスワードとハードディスクドライブロックパスワードを設定していただきますが、このパスワードはセキュリティー機能を保持するうえで重要な情報です。また、本機の修理の際にも必要となります。キーオペレーターはパスワードが漏洩しないように、自らパスワードの秘密を保持してください。
5. すべての作業終了後、必ずリセットボタンを押して待機画面に戻してください。
6. オートクリアタイムの設定を解除しないでください。設定を解除するとセキュリティーに対する脅威があがる恐れがあります。

※ キーオペレーターの選定には十分にご考慮ください。取扱説明書の記述内容を理解し、上記対応を確実に実行していただける方をお勧めします。

概要

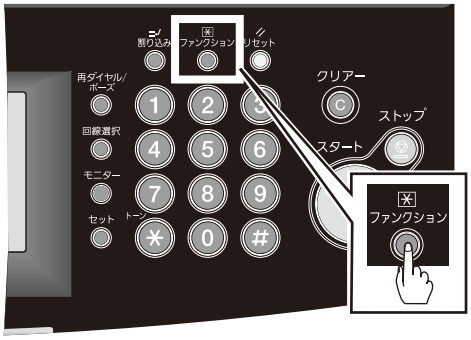
本機のセキュリティー設定はキーオペレーターが下記の順番で設定してください。弊社サービス技術者はデータセキュリティーキットの設置までを行います。セキュリティー設定方法でご不明な点は、弊社サービス技術者までお問い合わせください。セキュリティーの設定はお客様の大切な情報を守るために必要な設定です。

1. データセキュリティーキットバージョンの確認
2. キーオペレーターパスワードの設定
3. ハードディスク装置のデータ消去レベルの設定
4. ハードディスクドライブロックパスワードの設定
5. セキュリティー機能の動作確認

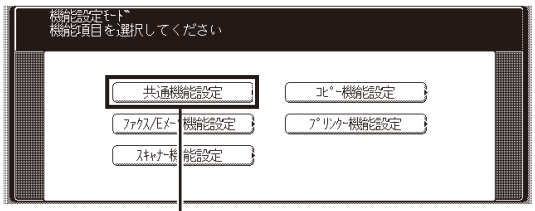
データセキュリティーキットバージョンの確認

データセキュリティーキットの設定を行う前に、データセキュリティーキットのバージョンを確認します。

1 <ファンクション>を押します。

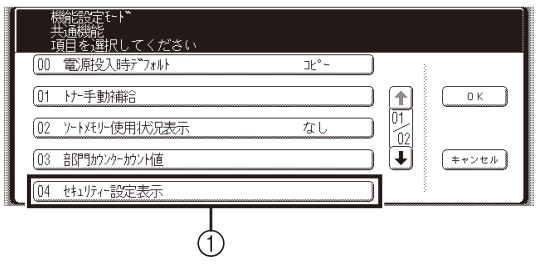


2 [共通機能設定]を押します。

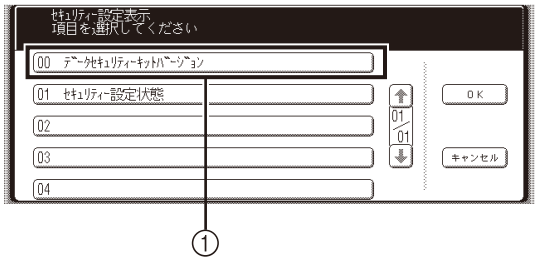


・[ファクス /Eメール機能設定]はファクスまたはインターネットファクスオプションが装着されていないと表示されません。

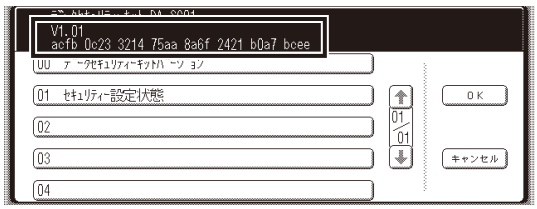
3 [04 セキュリティー設定表示]を押します。



4 [00 データセキュリティーキットバージョン]を押します。



5 バージョンが表示されます。



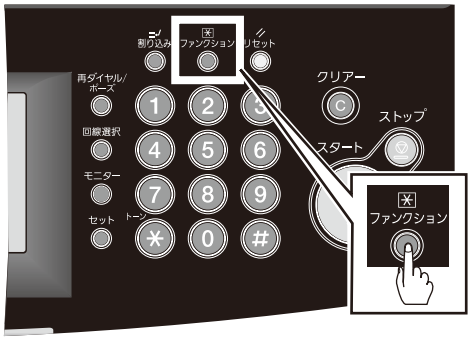
・バージョンが下記のように表示されます。
V1.01
acfb 0c23 3214 75aa 8a6f 2421 b0a7 bcee

・異なるバージョンが表示されるときは、サービス技術者に連絡してください。

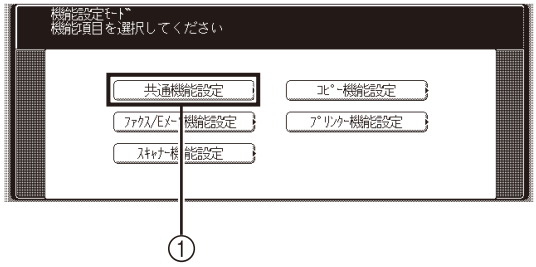
キーオペレーターパスワードの設定

キーオペレーターパスワードを任意のパスワードに変更します。(出荷時パスワード: 00000000)
パスワードは、画面上のキーボードと操作パネル上のテンキーから数字、アルファベット(大文字と小文字は区別されます)、記号(@ . _ スペース)を使用します。(<＊>と<＃>は除きます)

1 <ファンクション>を押します。

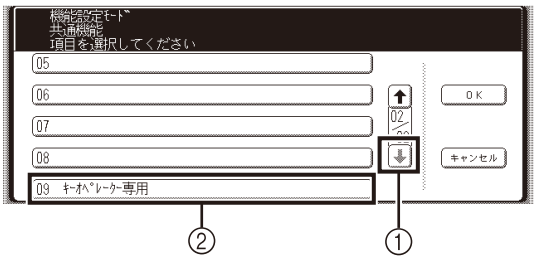


2 [共通機能設定]を押します。

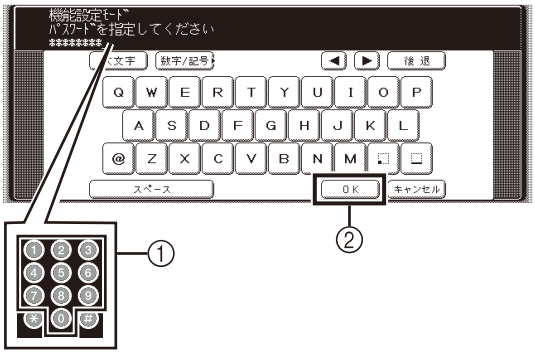


・[ファクス / Eメール機能設定]はファクスまたはインターネットファクスオプションが装着されていないと表示されません。

3 [↓]を押し、[09 キーオペレーター専用]を押します。

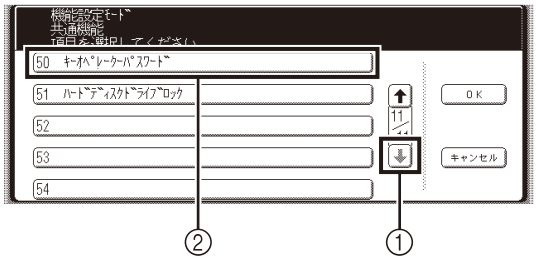


4 出荷時パスワード(00000000)を入力し、[OK]を押します。

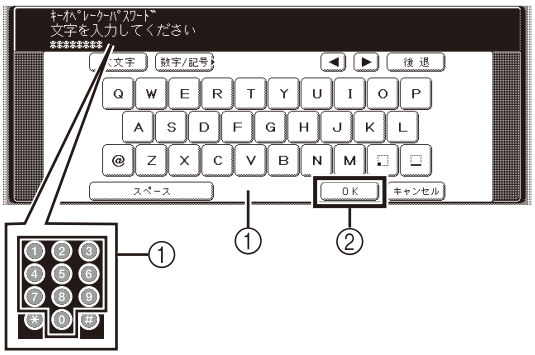


・画面には ＊ が表示されます。
・使用できない文字を入力したり、間違ったパスワードを入力し、[OK] を押した場合、拒否音を鳴らすと共に表示している ＊ は消去されます。
・操作を中止するときは[キャンセル]を押します。

5 [↓]を押して、[50 キーオペレーターパスワード]を押します。

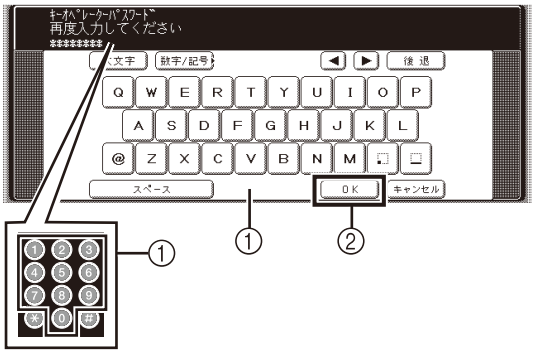


6 新しいパスワード(８文字)を入力し、[OK]を押します。

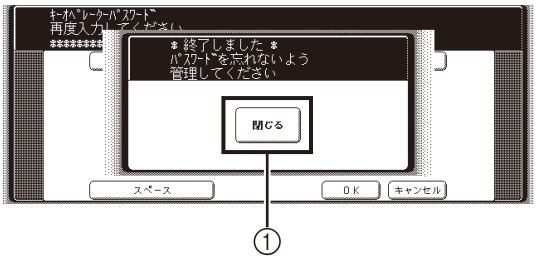


・必ず８文字を入力してください。
・８文字とも同じ文字は設定できません。
・入力した文字の訂正をしたい場合は、[後退]を使用してください。
・[◀][▶]は使用できません。
・大文字と小文字の切り替えには[大文字]を使用します。

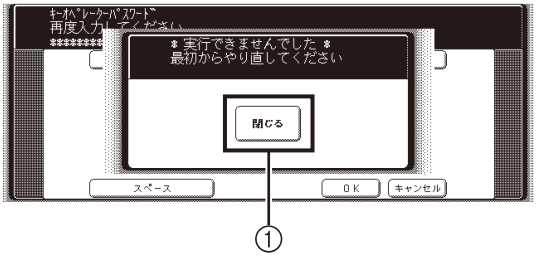
7 確認のため同じパスワードを再度入力をして、[OK]を押します。



8 [閉じる]を押します。



・間違って入力された場合には、次の画面が表示されます。



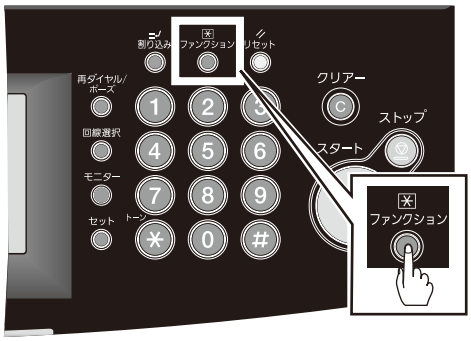
[閉じる]を押して、手順６からやり直します。

・設定が終了したら、< リセット > を押します。

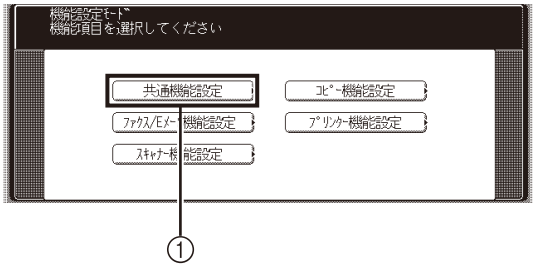
ハードディスク装置のデータ消去レベルの設定

ハードディスク装置の上書き消去レベルを設定します。(出荷時設定:標準)

1 <ファンクション>を押します。

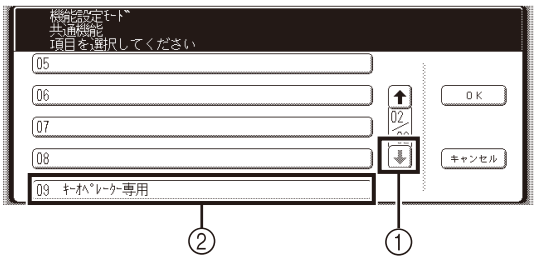


2 [共通機能設定]を押します。

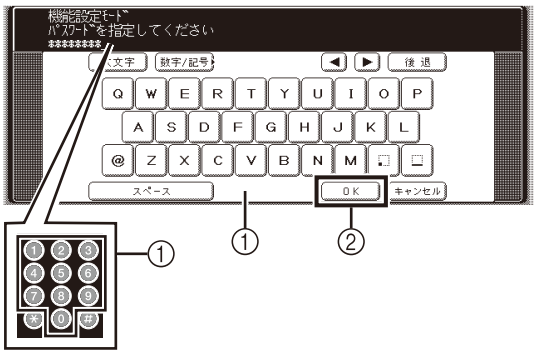


・[ファクス/Eメール機能設定]はファクスまたはインターネットファクスオプションが装着されていないと表示されません。

3 [↓]を押し、[09 キーオペレーター専用]を押します。

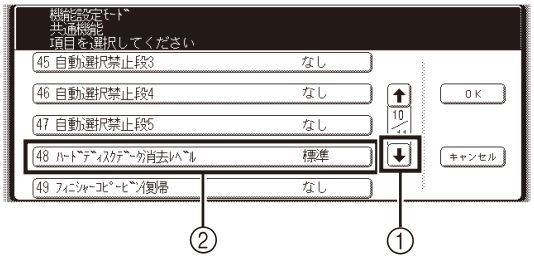


4 新しく設定したキーオペレーターパスワードを入力し、[OK]を押します。

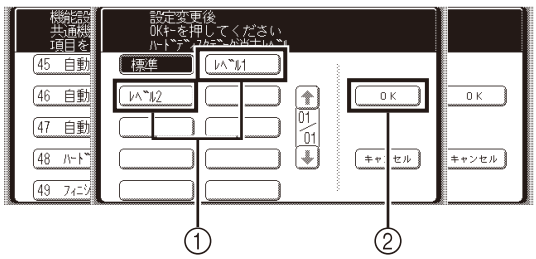


・画面には ＊ が表示されます。
・使用できない文字を入力したり、間違ったパスワードを入力し、[OK] を押した場合、拒否音を鳴らすと共に表示している ＊ は消去されます。

5 [↓]を押して、[48 ハードディスクデータ消去レベル]を押します。



6 データ消去レベル([レベル 1]または[レベル 2])を選択して、[OK]を押します。

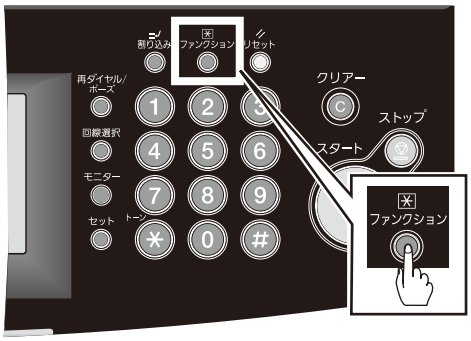


・現状の設定レベルが選択されています。
・[レベル 2]を選択することをお勧めします。
・設定が終了したら、<リセット>を押します。

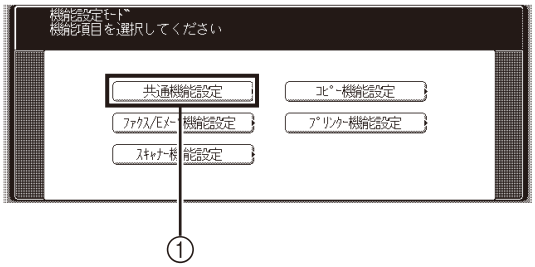
ハードディスクドライブロックパスワードの設定

ハードディスク装置にハードディスクドライブロックパスワードを設定します。ここで設定したパスワードは、本機とハードディスク装置に記録され、本機の電源投入時に双方のパスワードを比較します。パスワードが一致しないと本機は利用できません。
パスワードは、画面上のキーボードと操作パネル上のテンキーから数字、アルファベット（大文字と小文字は区別されます）、記号（@ . __ スペース）を使用します。（＜＊＞と＜＃＞は除きます）

1 ＜ファンクション＞を押します。

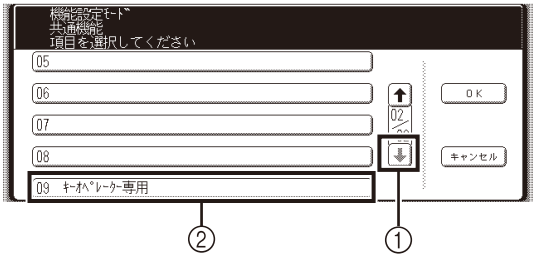


2 [共通機能設定]を押します。

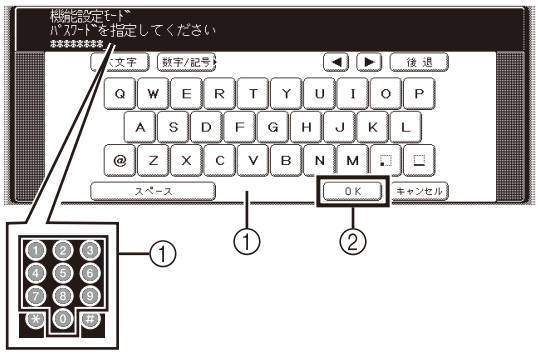


・[ファクス /Eメール機能設定]はファクスまたはインターネットファクスオプションが装着されていないと表示されません。

3 [↓]を押し、[09 キーオペレーター専用]を押します。

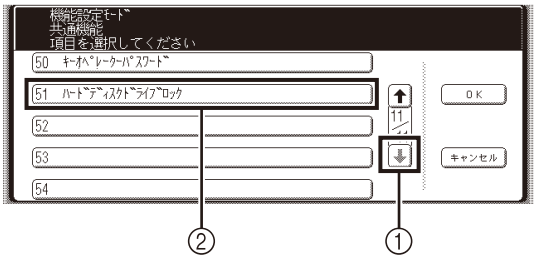


4 キーオペレーターパスワードを入力し、[OK]を押します。

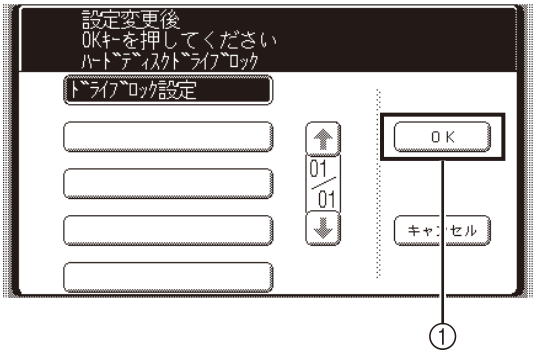


・画面には ＊ が表示されます。
・使用できない文字を入力したり、間違ったパスワードを入力し、[OK] を押した場合、拒否音を鳴らすと共に表示している ＊ は消去されます。

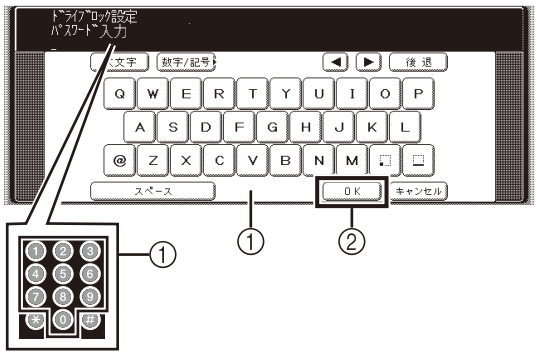
5 [↓]を押して、[51 ハードディスクドライブロック]を押します。



6 [OK]を押します。



7 任意のパスワード (8～32文字) を入力し、[OK]を押します。



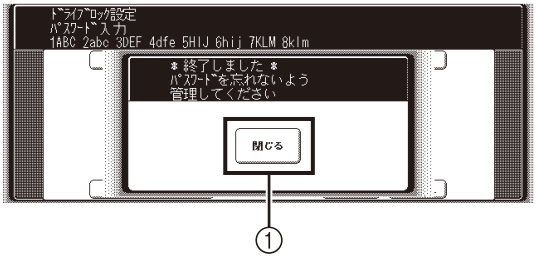
- 必ず 8 文字以上を入力してください。
- 入力した文字の訂正をしたい場合は、[後退]または[◀][▶]を使用してください。
- 大文字と小文字の切り替えには[大文字]を使用します。

お知らせ

キーオペレーターはパスワードが漏洩しないように、自らパスワードの機密を保持してください。

8 [閉じる]を押します。

次のメッセージが表示され、新しいパスワードが登録されます。

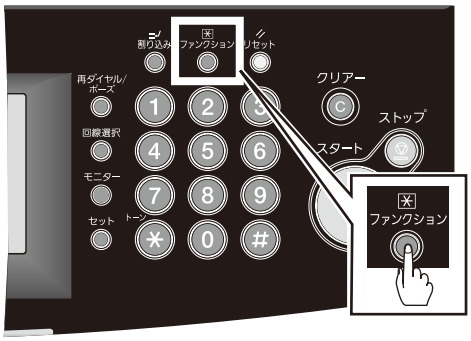


9 本機は自動的に再起動します

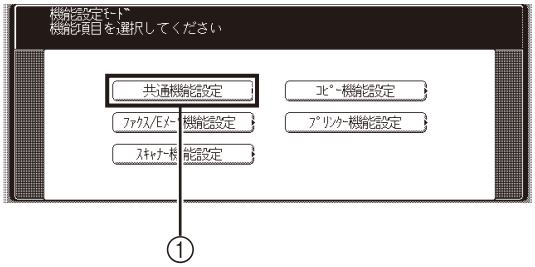
セキュリティー機能の動作確認

本機のセキュリティー状態を確認します。

1 <ファンクション>を押します。

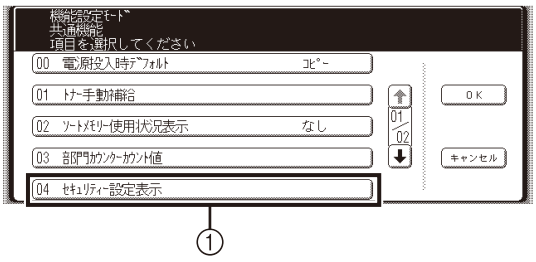


2 [共通機能設定]を押します。

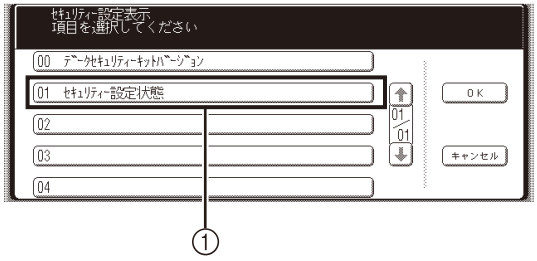


・[ファクス/Eメール機能設定]はファクスまたはインターネットファクスオプションが装着されていないと表示されません。

3 [04 セキュリティー設定表示]を押します。



4 [01 セキュリティー設定状態]を押します。



5 セキュリティー設定が正常に動作している場合、画面に "* 作動中 *" と表示されます

お願い

画面に "* 停止中 *" と表示される場合は、セキュリティー機能が動作していません。

以下のセキュリティー設定を確認します。

a: キーオペレーターパスワード
出荷時パスワード(00000000)から変更されていること

b: ハードディスクデータ消去レベル設定
[レベル 1]または[レベル 2]が選択されていること

c: ハードディスクドライブロックパスワード
任意のハードディスクドライブロックパスワードが設定されていること

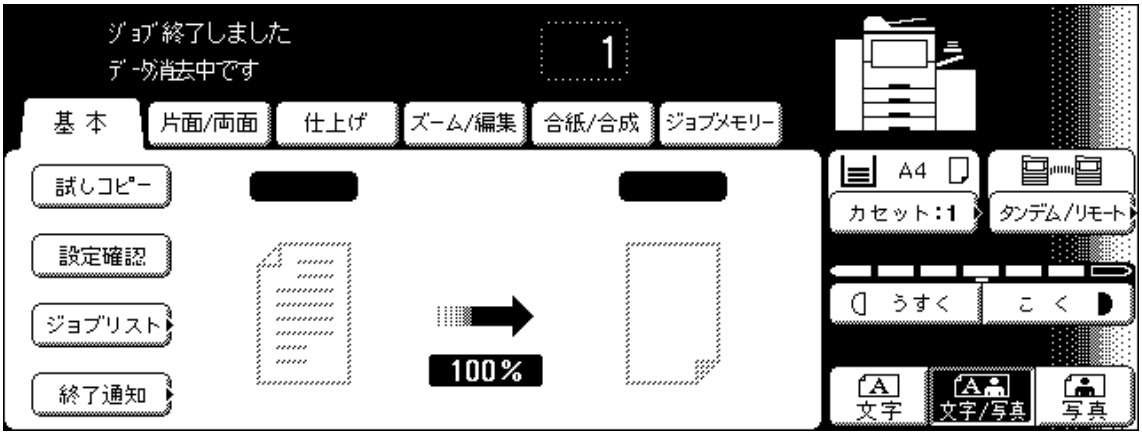
全ての設定が正しい場合は、キーオペレーターより弊社サービス技術者までご連絡をお願いします。

文書データ上書き消去中の表示

ハードディスク装置の文書データが自動的に上書き消去されるとき、本機のディスプレイに以下のメッセージが表示されます。このメッセージが表示されたら上書き消去機能が正常に作動していることを表しています。

" データ消去中です "

例：コピー終了時の画面



文書データが自動的に上書き消去される機能

	ご利用機能名称	削除されるタイミング
コピーとしてお使いのとき	1. [回転 -/ シフト -/ ステイプル -] ソート、ノンソート、[回転 -/ シフト -] スタックモード 2. タンデム / リモートコピー 3. 合成コピー ・シフト - ソート、シフト - スタックおよびステイプル - ソートは、フィニッシャー装着時のみ指定できます。	・ コピーが終了したとき ・ コピーを中止したとき ・ 合成コピーのファイルを消去したとき
スキャナーとしてお使いのとき	ネットワークスキャナー	・ スキャナーが終了したとき ・ スキャナーを中止したとき ・ データ転送中にエラーが発生したとき
プリンターとしてお使いのとき	1. PC からのプリント 2. メールボックスプリント 3. セキュリティーボックスプリント 4. メールボックス / セキュリティーボックスのユーザー操作による削除	・ プリントが終了したとき ・ プリントを中止したとき ・ メールボックス / セキュリティーボックスの保持期間が経過したとき * この場合、上記の「データ消去中です」の画面は表示されません。

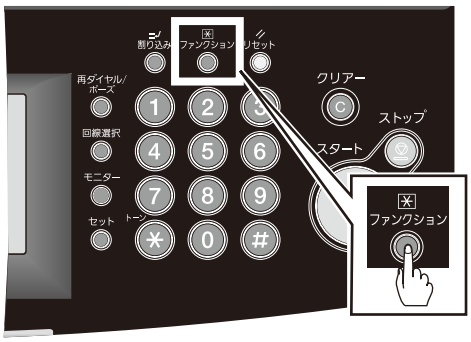
お知らせ

・ コピーやプリンターの動作中にエラーがあった場合は、文書データは上書き消去されていません。エラーが回復し、作業が終了したときに上書き消去されます。

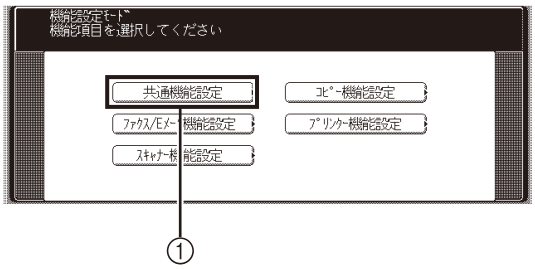
キーオペレーターパスワードの変更

以下の方法でキーオペレーターパスワードを変更します。
パスワードは、画面上のキーボードと操作パネル上のテンキーから数字、アルファベット（大文字と小文字は区別されます）、記号（@ . _ スペース）を使用します。（＜＊＞と＜＃＞は除きます）

1 ＜ファンクション＞を押します。

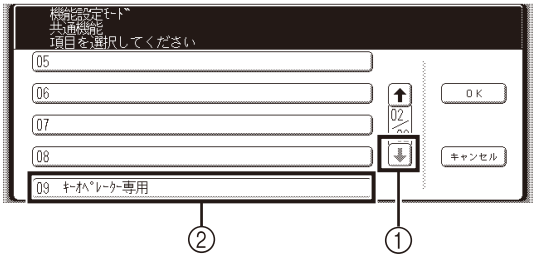


2 [共通機能設定]を押します。

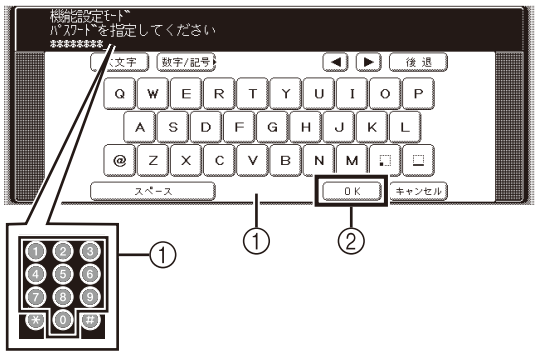


・[ファクス /Eメール機能設定]はファクスまたはインターネットファクスオプションが装着されていないと表示されません。

3 [↓]を押し、[09 キーオペレーター専用]を押します。

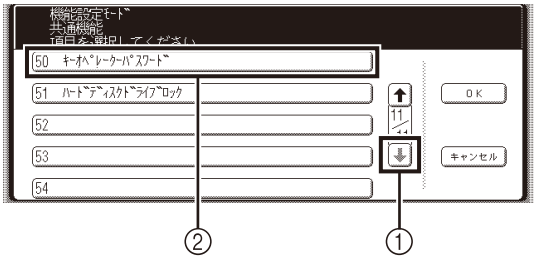


4 キーオペレーターパスワードを入力し、[OK]を押します。

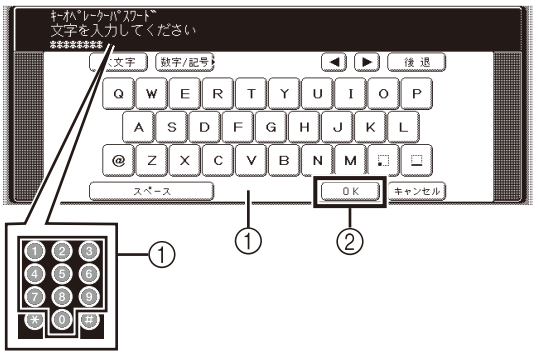


・画面には ＊ が表示されます。
・使用できない文字を入力したり、間違ったパスワードを入力し、[OK] を押した場合、拒否音を鳴らすと共に表示している ＊ は消去されます。
・操作を中止するときは[キャンセル]を押します。

5 [↓]を押して、[50 キーオペレーターパスワード]を押します。

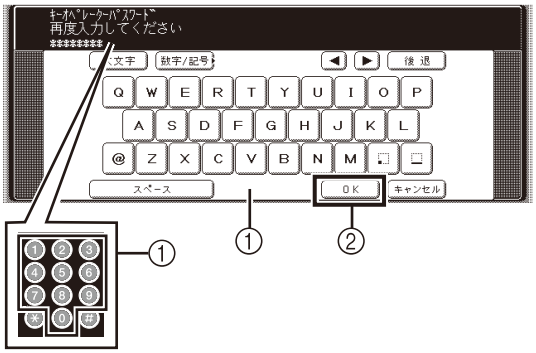


6 新しいパスワード(8 文字)を入力し、[OK]を押します。



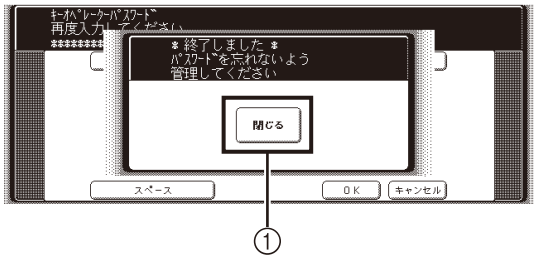
・必ず 8 文字を入力してください。
・8 文字とも同じ文字は設定できません。
・入力した文字の訂正をしたい場合は、[後退]を使用してください。
・[◀][▶]は使用できません。
・大文字と小文字の切り替えには[大文字]を使用します。

7 同じパスワードを再度入力をして、[OK]を押します。

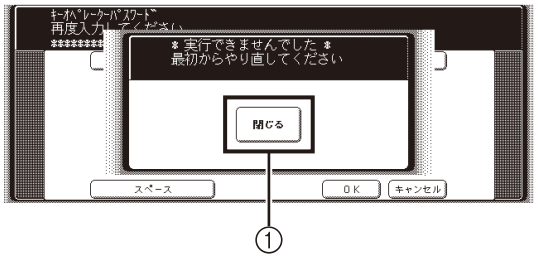


8 [閉じる]を押します。

下記画面が表示され、新しいパスワードが設定されました。



・間違って入力された場合には、次の画面が表示されます。



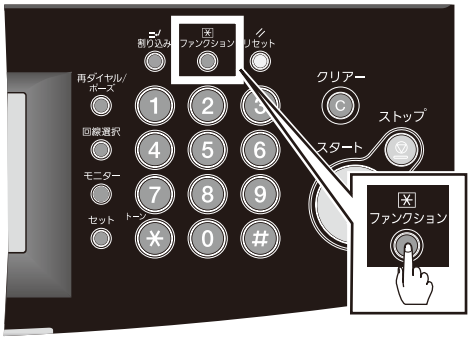
[閉じる]を押して、手順６からやり直します。

・設定が終了したら、< リセット > を押します。

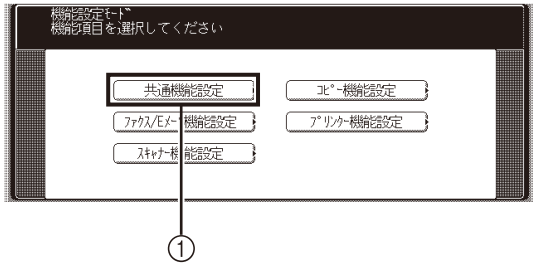
ハードディスクドライブロックパスワードの変更

以下の方法でハードディスクドライブロックパスワードを変更します。
パスワードは、画面上のキーボードと操作パネル上のテンキーから数字、アルファベット（大文字と小文字は区別されます）、記号（@ . _ スペース）を使用します。（＜＊＞と＜＃＞は除きます）

1 ＜ファンクション＞を押します。

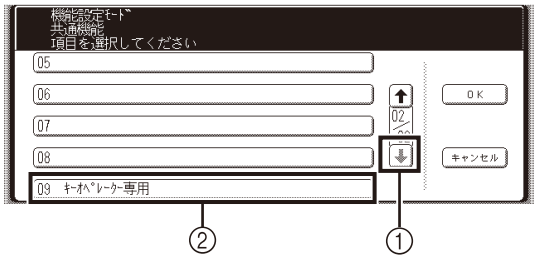


2 [共通機能設定]を押します。

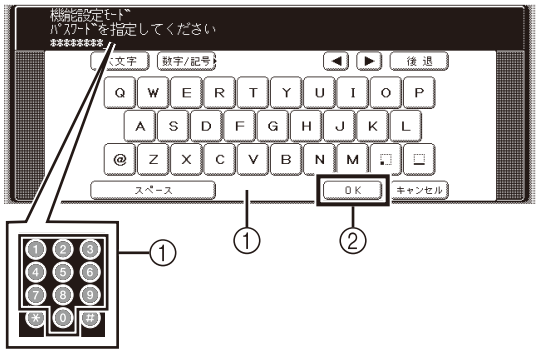


・[ファクス /Eメール機能設定]はファクスまたはインターネットファクスオプションが装着されていないと表示されません。

3 [↓]を押し、[09 キーオペレーター専用]を押します。

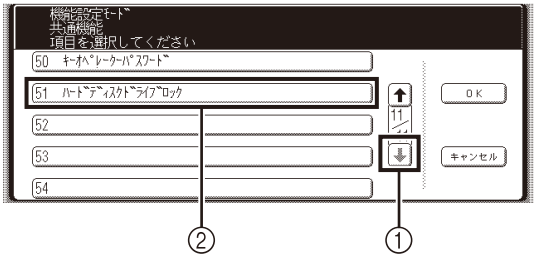


4 キーオペレーターパスワードを入力し、[OK]を押します。

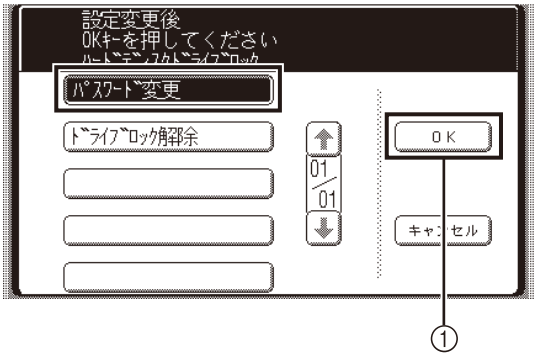


・画面には ＊ が表示されます。
・使用できない文字を入力したり、間違ったパスワードを入力し、[OK] を押した場合、拒否音を鳴らすと共に表示している＊は消去されます。

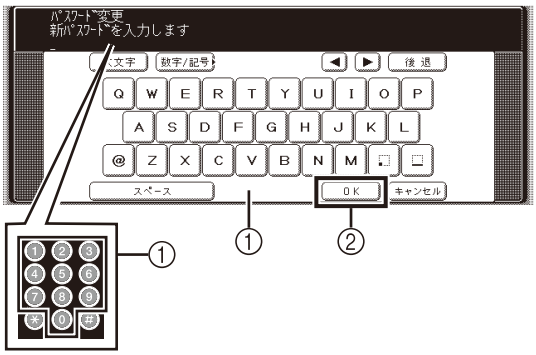
5 [↓]を押して、[51 ハードディスクドライブロック]を押します。



6 [パスワード変更]が選択されていること（白黒反転表示）を確認して、[OK]を押します。



7 パスワード (8 ～ 32 文字) を入力し、[OK]を押します。



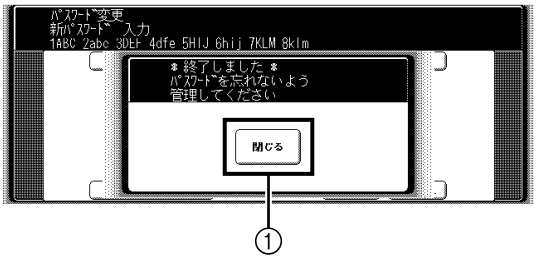
- 必ず 8 文字以上を入力してください。
- 誤って入力した場合は、[後退]または[◀][▶]を使用してください。
- 大文字と小文字の切り替えには[大文字]を使用します。

お知らせ

キーオペレーターはパスワードが漏洩しないように、自らパスワードの機密を保持してください。

8 [閉じる]を押します。

下記画面が表示され、新しいパスワードが設定されました。



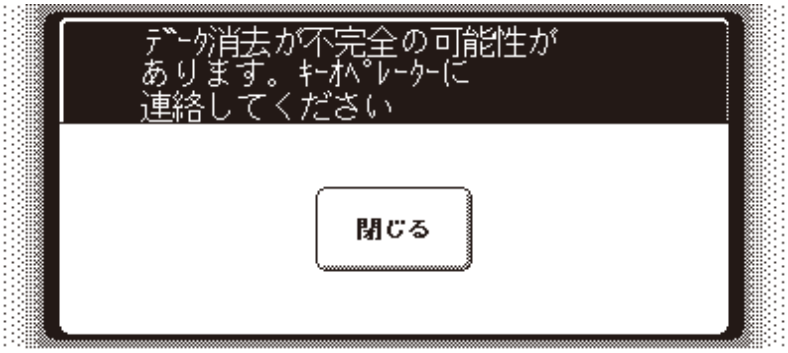
9 本機は自動的に再起動します

文書データが上書き消去できないとき

電源の瞬断、電源の異常切断や停電などにより、正常に電源が落とされなかった場合、電源投入時にハードディスクエラー画面が表示される時があります。
以下の画面が表示された場合、ハードディスクの文書データが正しく上書き消去されていない恐れがあります。

重要なデータをコピー、スキャン、プリントしている際は、セキュリティー確保のため**[閉じる]を押す前に必ずキーオペレーターに連絡してください。**

キーオペレーターは次ページからの手順を実行してください。セキュリティーを確保するためにデータ領域に残っているデータの上書き消去をされることをお勧めします。



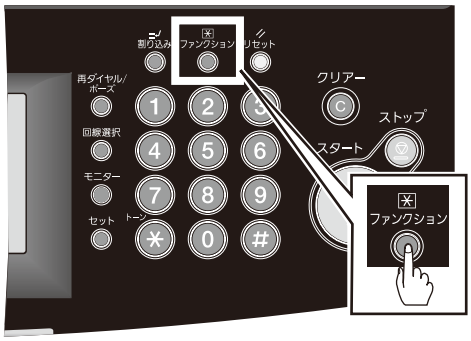
データ領域に残ってしまった文書データの上書き消去方法

キーオペレーターは以下の手順に従ってハードディスク装置のデータ領域に残っている文書データを上書き消去してください。上書き消去されるデータは 13 ページを参照してください。

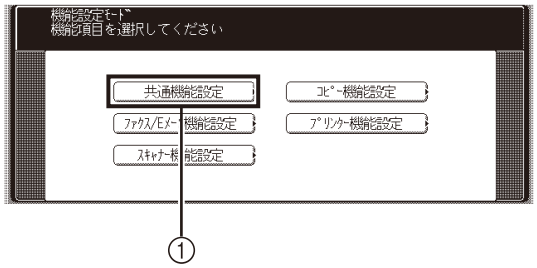
お願い

ハードディスク装置のデータを消去する前に電源を切ってから、LAN ケーブル・プリンターケーブル(パラレルケーブル)・回線コードを本機から取り外し、再び電源を入れてください。

1 < ファンクション > を押します。

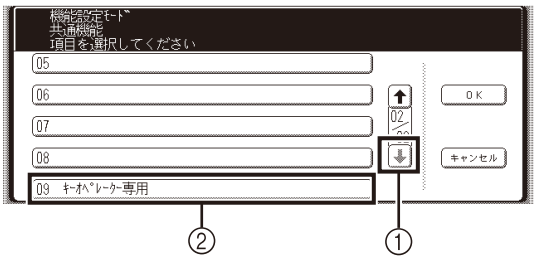


2 [共通機能設定]を押します。

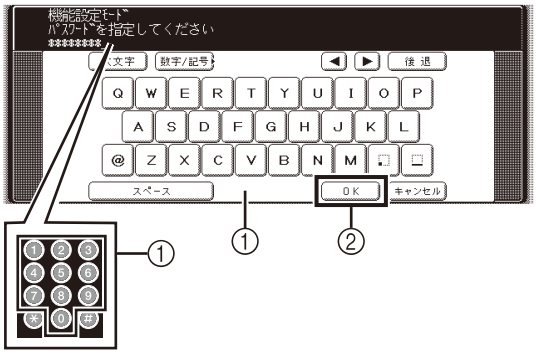


・[ファクス /E メール機能設定]はファクスまたはインターネットファクスオプションが装着されていないと表示されません。

3 [↓]を押し、[09 キーオペレーター専用]を押します。

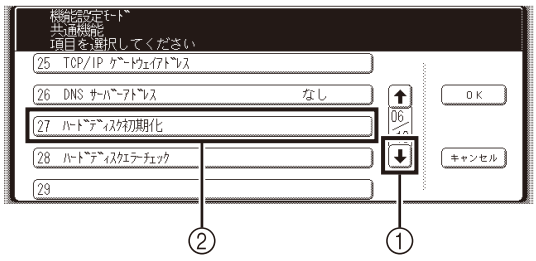


4 キーオペレーターパスワードを入力し、[OK]を押します。

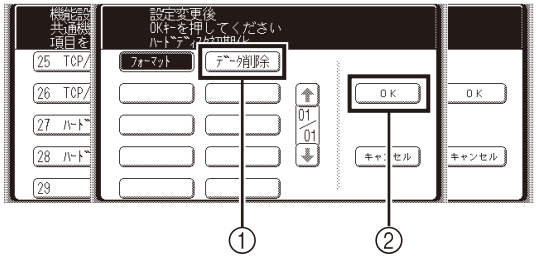


・画面には ＊ が表示されます。
・使用できない文字を入力したり、間違ったパスワードを入力し、[OK] を押した場合、拒否音を鳴らすと共に表示している＊は消去されます。

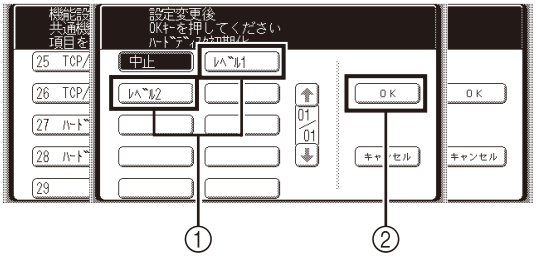
5 [↓]を押して、[27 ハードディスク初期化]を押します。



6 [データ削除]を押し、[OK]を押します。

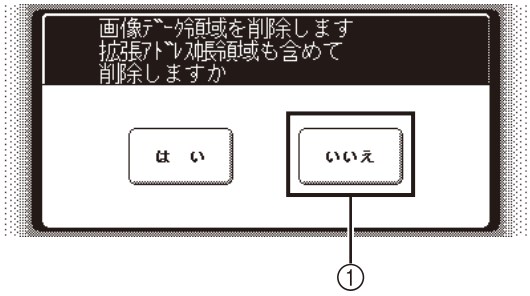


7 データ消去レベル([レベル 1]または[レベル 2])を選択して、[OK]を押します。



・[レベル 2]を選択することをお勧めします。

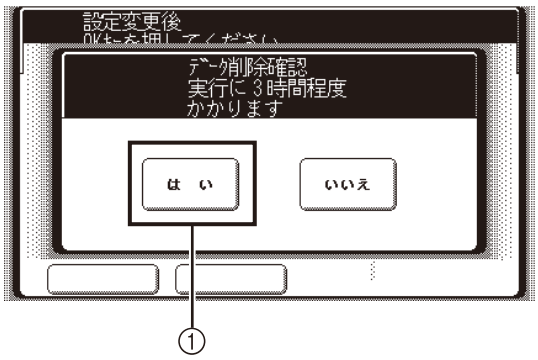
8 [いいえ]を押します。



お知らせ

ファクスの宛先登録件数を 1000 件対応した拡張アドレス帳をお使いの場合は、[はい]を押すとデータが消去されてしまいます。拡張アドレス帳の登録データを残したいときは、必ず[いいえ]を押してください。

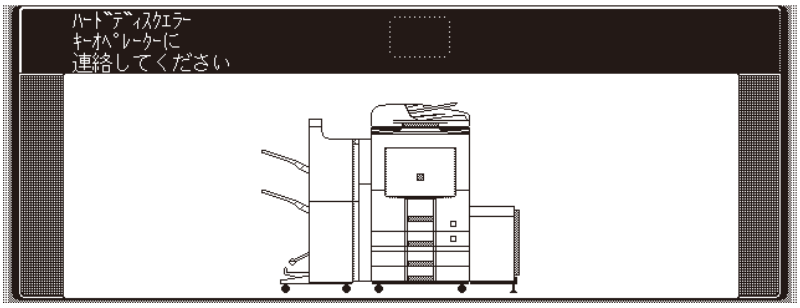
9 [はい]を押します。



・ハードディスク装置の上書きデータ消去を開始します。消去が完了すると、本機は自動的に再起動します。

ハードディスクドライブロックパスワードが一致しないとき

以下のメッセージは、メイン基板またはハードディスクが壊れたか、どちらかを交換したときに表示されます。
キーオペレーターによる処置が必要なことを表示します。
ファンクションキーでのキー操作以外、すべての機能が使えなくなります。
メイン基板またはハードディスクを交換していないのに下記メッセージが表示された場合は、すぐに弊社サービス技術者にご連絡ください。



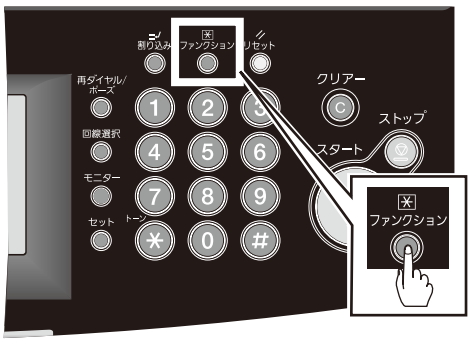
＊ 画面に表示される装置のイラストはオプションの構成により異なります。

ハードディスクドライブロックパスワードの再設定が必要です。ハードディスクドライブロックパスワードが正しく入力されなかった場合は、全消去を伴うハードディスクドライブロックパスワード解除の設定（23 ページの手順 10 から）を実行してください。

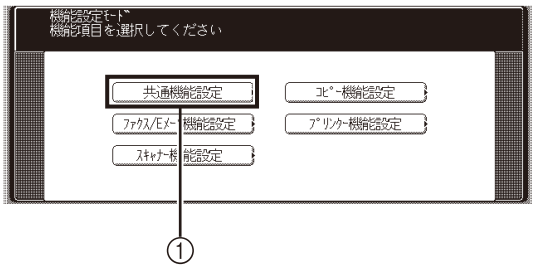
ハードディスクドライブロックパスワードの再設定

メイン基板またはハードディスクを交換された場合、本機の電源投入時にハードディスクエラー画面が出ます。ハードディスクドライブロックパスワードを設定してください。
パスワードは、画面上のキーボードと操作パネル上のテンキーから数字、アルファベット（大文字と小文字は区別されます）、記号（@ . _ スペース）を使用します。（＜＊＞と＜＃＞は除きます）

1 ＜ファンクション＞を押します。

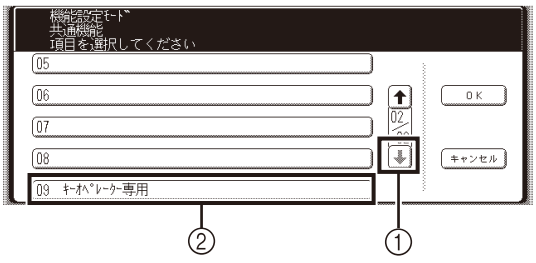


2 [共通機能設定]を押します。

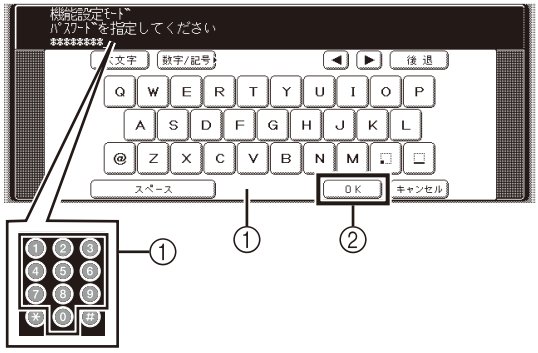


・[ファクス / E メール機能設定]はファクスまたはインターネットファクスオプションが装着されていないと表示されません。

3 [↓]を押し、[09　キーオペレーター専用]を押します。

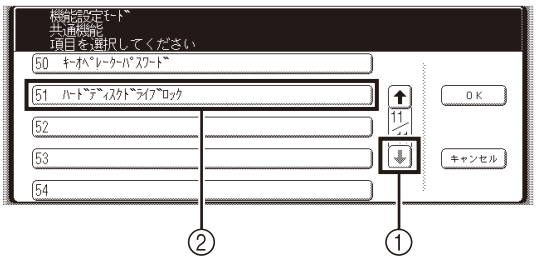


4 キーオペレーターパスワードを入力し、[OK]を押します。

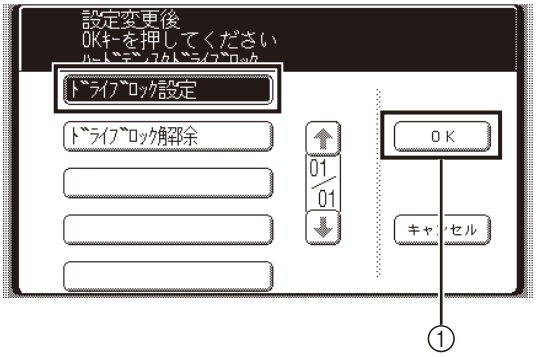


・画面には＊が表示されます。
・使用できない文字を入力したり、間違ったパスワードを入力し、[ＯＫ] を押した場合、拒否音を鳴らすと共に表示している＊は消去されます。

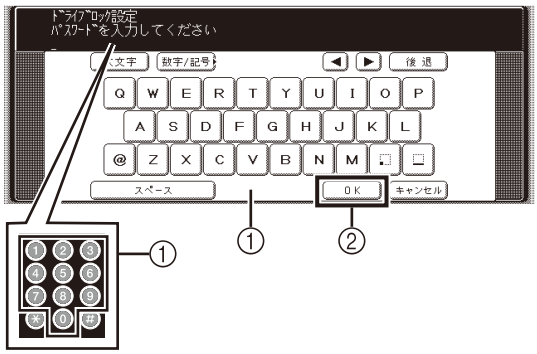
5 [↓]を押して、[51　ハードディスクドライブロック]を押します。



6 [ドライブロック設定]が選択されていること（白黒反転表示）を確認して、[OK]を押します。



7 設定済みのパスワード (8～32文字) を入力し、[OK]を押します。



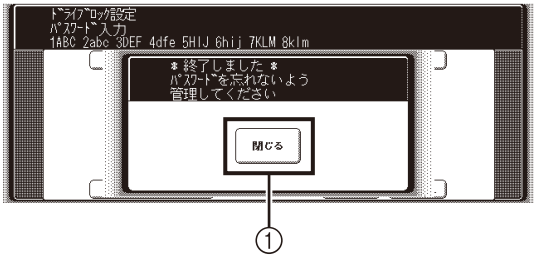
・8文字以上を入力してください。
・誤って入力した場合は、[後退]または[◀][▶]を使用してください。
・大文字と小文字の切り替えには[大文字]を使用します。

お知らせ

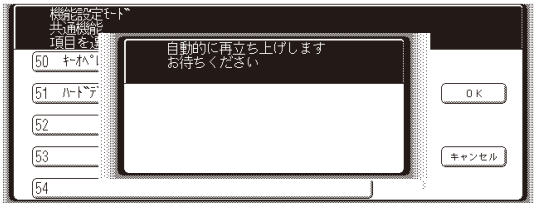
キーオペレーターはパスワードが漏洩しないように、自らパスワードの機密を保持してください。

8 [閉じる]を押します。

次のメッセージが表示され、新しいパスワードが登録されます。

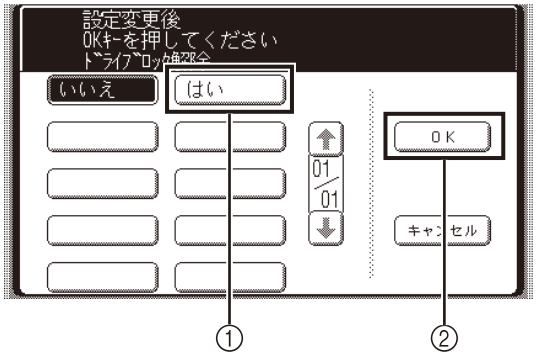


9 本機は自動的に再起動します。

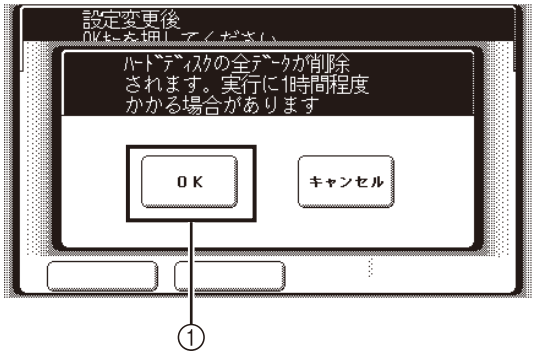


10 再度エラーメッセージが表示された場合は、設定したドライブロックパスワードが正しく入力されなかった恐れがあります。
もし、ドライブロックパスワードが分からなくなっている場合は、手順６で[ドライブロック解除]を選択し、[OK] を押します。
次に、手順１１へ進みます。

11 [はい] を押し、[OK] を押します。



12 確認画面が表示されます。[OK] を押します。

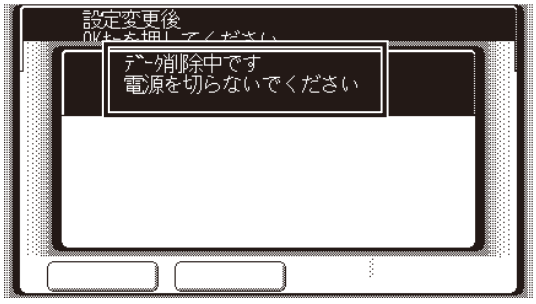


[キャンセル]を押すと、ひとつ前の画面に戻ります。

お知らせ

[OK]を押すと、ハードディスクの内容がすべて消去されます。

13 次のメッセージが表示され、ハードディスクの全消去をしてから本機は自動的に再起動します。



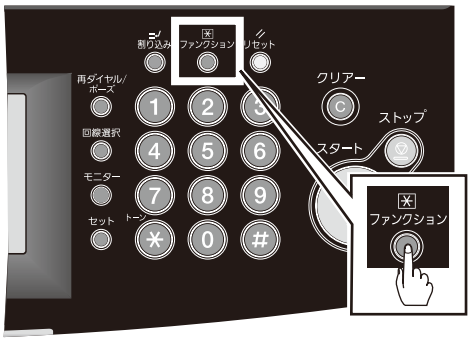
本機を廃棄するときのお願い

本機を廃棄の際は、キーオペレーターよりサービス技術者にご連絡ください。キーオペレーターは以下の手順に従ってハードディスク装置のデータ領域に記録されているファクスアドレス帳などすべてのデータを削除してください。

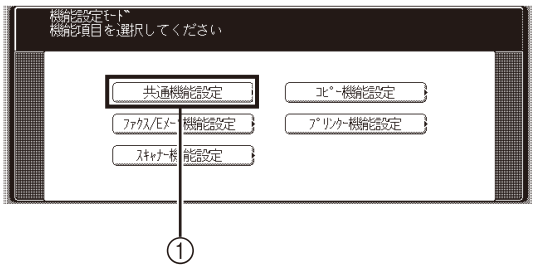
お願い

ハードディスク装置のデータを消去する前に電源を切ってから、LAN ケーブル・プリンターケーブル(パラレルケーブル)・回線コードを本機から取り外し、再び電源を入れてください。

1 <ファンクション>を押します。

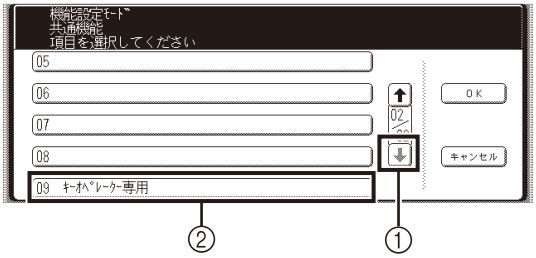


2 [共通機能設定]を押します。

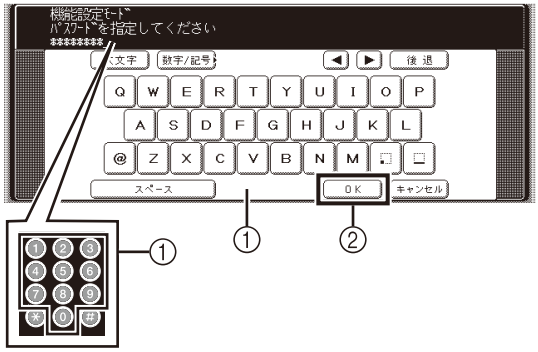


・[ファクス /Eメール機能設定]はファクスまたはインターネットファクスオプションが装着されていないと表示されません。

3 [↓]を押し、[09 キーオペレーター専用]を押します。

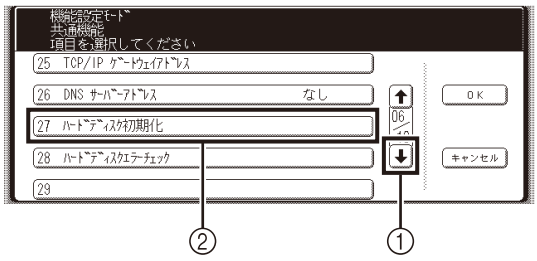


4 キーオペレーターパスワードを入力し、[OK]を押します。

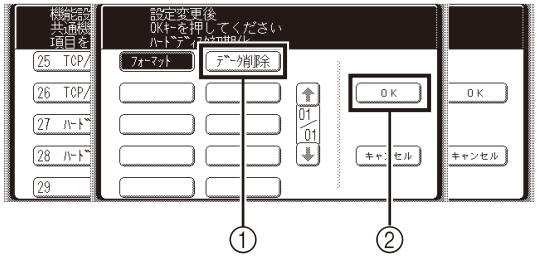


・画面には ＊ が表示されます。
・使用できない文字を入力したり、間違ったパスワードを入力し、[OK] を押した場合、拒否音を鳴らすと共に表示している ＊ は消去されます。

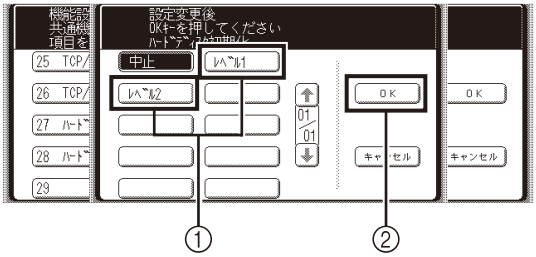
5 [↓]を押して、[27 ハードディスク初期化]を押します。



6 [データ削除]を押し、[OK]を押します。

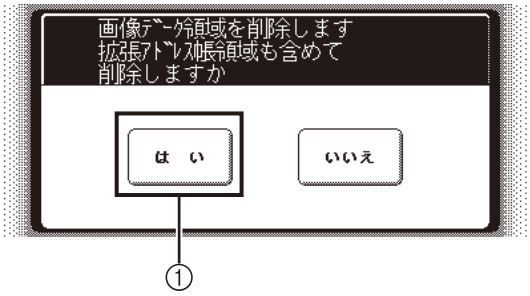


7 データ消去レベル([レベル 1]または[レベル 2])を選択して、[OK]を押します。



・[レベル２]を選択することをお勧めします。

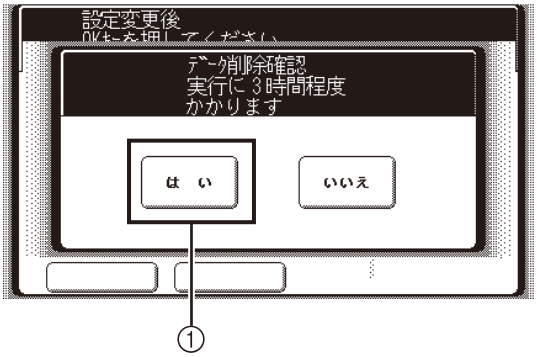
8 [はい]を押します。



お知らせ

ファクスの宛先登録件数を 1000 件対応した拡張アドレス帳をお使いの場合は、「はい」を押すとデータが消去されます。「いいえ」を押しと拡張アドレス帳の登録データが残ります。本機を廃棄する時は必ず[はい] を押してください。

9 [はい]を押します。



・ハードディスク装置のすべてのデータ削除を開始します。削除が完了すると、本機は自動的に再起動します。

便利メモ （おぼえのため、記入されると便利です）

お買い上げ日	年　　月　　日	品番　DA-SC01
販 売 店 名	電話（　　）　　-	
サ ー ビ ス 実施会社名	電話（　　）　　-	

パナソニック コミュニケーションズ株式会社
オフィスネットワークカンパニー

C0306-0 (10)
PJQMC0692ZA
November 2006
Printed in Japan

© 2006 Panasonic Communications Co., Ltd. All Rights Reserved.